

「にんたま」上海進出

店名「大野本家」海外へ初出店

ゆにろーず

ラーメン店チェーンのゆにろーず(本社取手市、大野秀之社長は中国・上海での店舗展開に乗り出した。ニンニクと卵を使った看板メニュー「にんにくたまごラーメン(にんたまラーメン)」を引っ提げ、昨年から商業施設に相次ぎ出店。同社の海外出店は初めてで、年内までに計5店舗を上海市内に立ち上げる計画だ。

ゆにろーずは茨城や千葉、埼玉、石川、岩手、大阪の6府県で計19店舗を展開する。「ロードサイド」と呼ばれる道路沿いに立地しているのが特徴で、トラックなどに対応した大型駐車場を備える。24時間365日営業にこだわり、週末は家族連れでにぎわう。



昨年9月にオープンした「大野本家」1号店(中国・上海)

た(大野社長)という。食材は現地で調達している。背脂やニンニクの揚げ玉なども全て手作りで対応しており、日本での製法に



「大野本家」1号店の店内(中国・上海)

こだわった。地下鉄駅近くの商業施設で昨年9月に1号店、同12月に2号店を立ち上げた。2号店については、6月にもショッピングモールに隣接した飲食施設に移転する予定だ。現状よりも好条件の立地で、将来的には総菜工場や研修施設を併設したいと考えた。

大野社長は上海での店舗展開について「数年後にはロードサイド店を出したい」と語った。今後の課題については「ラーメンのみぞ味だ」と指摘。「中国式のみそはトウバンジャンに近い。日本の味に近づけたい」とした。

ゆにろーずは1958年6月設立。73年に取手市内へ、ドライブイン「ゆにろ

ーず取手店」を出店し、本格的にドライブイン運営に取り組み始めた。90年前半ごろからドライブインの飲食部門で「にんたまラーメン」を前面に打ち出し、ラーメン店として人気を集めている。(小野寺晋平)